

部の中に担当を置き、解決を図って行こうという姿が見えて来ました。

今回は、昨年11月の第4回定例会での私の質問に対する区の答弁の内①今年度2月には、本格的に



この問題に着手していきたい。②来年5月頃には、空き家対策の地域情報の収集と指導の実施、あるいは住宅相談の充実と広報といったような実態調査の実施。③知識人等を中心とした『協議会』を同8月頃までに設置し、年度末に向けて空き家対策計画の策定を考えていきたい、の3点についてその後の進捗状況を尋ねました。

区は「3月末までに100件の情報があった。10月から実態調査をし、今年度の第4回定例会で空き家対策計画を提案したい」と答えました。

空き家の活用をも視野に入れた、具体的な計画が期待されます。

3) 中野区の無電柱化について

全国には未だに約3,300万本の電柱があります。一般に街なかに電柱・電線のある風景を見慣れているせいか、無電柱化はあまり関心が無いようにも見えますが、通行空間の安全性・快適性の確保、良好な景観形成や観光振興、道路の防災機能の向上にとっての阻害要因になっているのも事実です。パリやロンドンでは無電柱化率100%です。

私は「ノーモア電柱・ノーモア新電柱」を高く掲げ、区民に理解を得ながら無電柱化を促進すべきだと訴えました。ちなみに中野区内の区道の無電柱化率は0.6%にとどまっております(23区内の国道及び都道の無電柱化率41%)、区内の電柱は1本でもなくす機運を作ることが大切です。

無電柱化の課題はコストと時間がかかることですが、「これまでのように電線共同溝に電線を入れるにではなく、できるだけ浅い場所に直接埋設する低廉なコストでできる新たな手法の検討も進んでいる、区としても国や都と一体になって取り組むべきだ」と区の見解を質しました。区は「今後、指摘のような新たな手法の検討も含め、国や都と連携を図りながら、無電柱化の推進に取り組んでいく」と回答しました。

佐野れいじオフィシャル WEB サイト <http://www.sanoreiji.jp/>

オフィシャル WEB サイトでは、毎月の活動記録、コラムを(私の想うこと)掲載しています。また、ミニコラム(ちょっと一言)も掲載を始めました。ミニコラムでは日頃気が付いた事や、気になっていること、ニュースで話題になっていることを掲載しています。今は「空き家」問題が気になっており色々情報を収集し知り得た情報を公開しています。是非とも WEB サイトも読んで頂け嬉しく思います。「佐野れいじ」で検索して頂ければ WEB サイトに来て頂けます。

